

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし

Dappe

3
2021

うっっちゃれ、シテイライフ。



ロケーションフォト Location Photo

こんにちは。室井です。
先日、休みの日に大学時代の友人夫婦の写真を撮影しました。二日間の撮影を全て町内で行いましたが、改めてロケーションフォト（屋外での撮影）に向けた場所だと感じました。太陽の位置に合わせて、光の良い場所に移動して撮影します。朝は海、昼間は里山、夕方にはまた海へ。海と山が近い環境だからこそできる撮影でした。撮影の途中で、地元の農家さんが声をかけてくれて、菜花をいただいたり、知り合いに会って話をしたり、春らしくあたたかな撮影になりました。

移住相談窓口

道の駅保田小学校
まちのコンシェルジュ

第1.3火曜日
第2.4土曜日

10:00-12:00
13:00-15:00

インスタグラム
@kyonantai



Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊
住所 AKARI (地域おこし協力隊拠点)
〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田 66-1
執筆 清水多佳子 堀越美奈 室井翼

思い出を 鋸南で。



江月から佐久間へ抜ける道

朝の大六海岸



畑復活プロジェクト

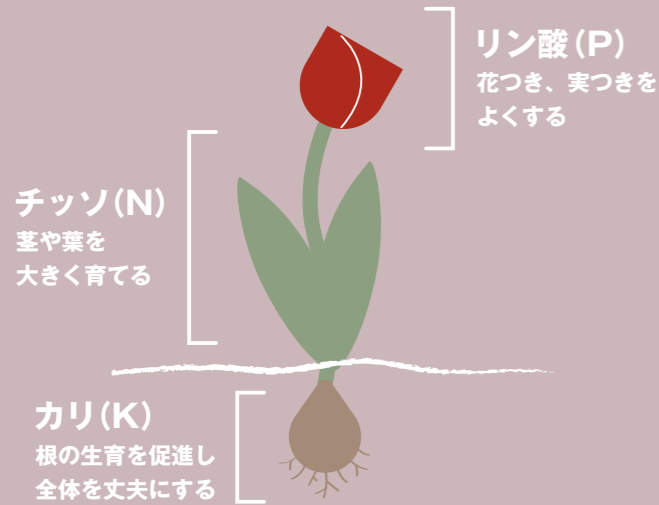
FIELD REVIVAL PROJECT



こんにちは！農業支援担当の堀越です。先月は晴れた日も多く、無事に10a程の圃場の草刈りが完了しました！

この圃場では農業の勉強をさせていただいているのですが、これまでの試験栽培をした他にはしばらく作物を作っていなかったため、硬い粘土質の土になっていたようです。

そこで私は、土の成分の検査を試みることに。結果、リン酸という成分以外の栄養はあまり入ってはいませんでした。植物が元気に育つためには、窒素（チッソ）とカリという成分も大切なんだそうです。



農家さんは、自分が育てたい作物にあわせて、その3種類十カルのシウムやらマグネシウムやら沢山の肥料をバランスよく混ぜて土づくりをしているんだとか！勉強すればするほど、農業は奥深いな〜と本当に驚きました。目指すは、フカフカの柔らかい畑の土。というところで、手始めに大量のモミ殻（お米の外側の皮）を入れ、お近くの酪農家さんから牛糞堆肥をいただくことにしました。そして、ご近所の農家さんがトラクターで耕耘をしてくれたおかげで、カチカチだった圃場は土を踏み込むとムギュッと沈む程度に柔らかくなりました。

これから色々な作物を植えてみて何が元気に育つか調べてみようと思います！

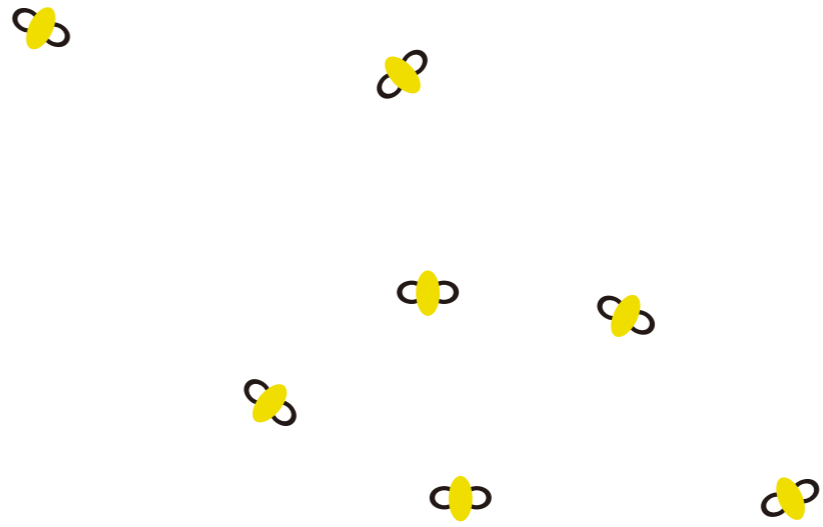
Instagram
@mina_yu_chan

農家さんからいただいた野菜を使った料理などもアップしているのでよかったら見て下さい！



はち

はじめます。



観光担当の清水です。今、私が取り組んでいるのは養蜂です。知り合いの地域おこし協力隊が養蜂家としてハチミツを作っているのを知り、「私もやってみよう」と思ったのがきっかけでした。とは言いながら、何から始めればいいのかも分からず、昨年から二ホンミツバチに取り組んでいる知り合いに話を聞いて、本を買って勉強してきました。そこで分かったのは、二ホンミツバチとはまず「捕まえるのが難しい」ということと、採取できる蜜の量は西洋ミツバチよりも少ないということです。ただ、それでも二ホンミツバチで養蜂をやってみようと思ったのは、西洋ミツバチよりも蜂の管理が容易なのではないかと感じたからです。まずは、巣箱づくりです。インターネットで巣箱について調べ、工具を使い、箱を作りました。今、町内のいくつかの場所に箱を置き、二ホンミツバチに入ってもらうため工夫をしているところです。養蜂は自然を相手にする仕事です。自然とは、人間の力ではどうすることもできないもの。せつかく田舎暮らしをしているのだから、自然と向き合っていきたいと思います。

